

飯塚翔太氏(ミズノ)リオに続く快走！ 世界陸上で銅メダル獲得

2017年世界陸上競技選手権大会、男子4×100mリレー（会場：イギリス・ロンドン：オリンピックスタジアム）で銅メダルを獲得した飯塚翔太さん（2014年法学部卒・ミズノ）が9月11日、大村雅彦理事長、酒井正三郎総長・学長を表彰訪問されました。

昨年のリオデジャネイロに続き、今年もメダルを胸に記念撮影を行い、その後、今後の目標、意気込みなどを聞きました。

リオに続き、世界大会でメダリストとなった飯塚選手。注目がさらに集まる中、現在の疲労度はどのくらいか聞いてみると、「昨年結構忙しかせてもらって。気が付いたらシーズンに入っていました。」と笑顔を見せ、「イベントでいろんな人と会って、そこで喜んでる人たちの顔を見るとモチベーションになり、今年も頑張ろうと思った。」と語ってくれました。

世界陸上のリレーでは、リオと同じ区間、第2走者として出場。リレーと個人走での心構えの違いを聞くと、「リレーは、運動会の最終種目みたいな気持ちで走れるので楽しいです。」と答えてくれた。「プレッシャーを自分に与えないようにして、ただ全力で走る。一生懸命、力を尽くす。」という。「練習の時は考える。けど本番では何も考えない。走っている時間が短いので。“反応”は、一瞬の判断なので、無意識で判断しているというか。意識があると遅くなるんですよ。」

また、第2走者の醍醐味を聞いてみると、「今の自分に一番あっているかもしれない。第2走者はバトンが2回あって、順位を落とさないようにする区間。あげるというよりは落とさない。つなぐ区間です。地味なんですよ。TVなどで結果を流すときに結構省かれてますよね。スタートして、第3走者の最後から第4走者で、ゴールするシーンが流れることが多いですよ。」と笑いを誘いました。「あまり盛り上がりがない、ただただ、つなぐだけの区間なんですけど、そこに魅力がある。スタートしてから10秒後に走れるのは楽なところですね。第1走者と一緒にスタートする気持ちで。“on your marks”で自分も準備に入れるんで。」

リレーメンバーの雰囲気は良く頻りに話しかける。話しかけることでミスが減り、意思の疎通ができ、さまざまな事が改善できるという。指導はコーチに任せて、飯塚選手はメンバーの気持ちに乗せるように、積極的にかかわっているとのこと。

今後の目標について聞いてみると、「100mは好きなんです。」と即答。世界の決勝に残って戦えることができれば自己ベストは何秒でもよいと語ってくれたものの、個人としては、100mを9秒台、200mを19秒台を目指しており、「200mに関しては今2位なんで、ここで1位に立つことは大きな目標ですね。」と歴代日本記録で1位の記録を持つことは魅了的だと述べました。（2017年10月現在、200mの記録保持者は末續慎吾氏の20秒03）

陸上競技部の後輩たちにエールの言葉を頼むと「自信を持ってやってほしいですね。中央大学のCのユニホームを着て走ることに誇りを持って。インカレでリレーは優勝し5連覇を達成しましたし、そういった良いチームの一員として長距離ブロックも試合に出ると思うので胸張って走ってもらいたいですね。自信持って。」

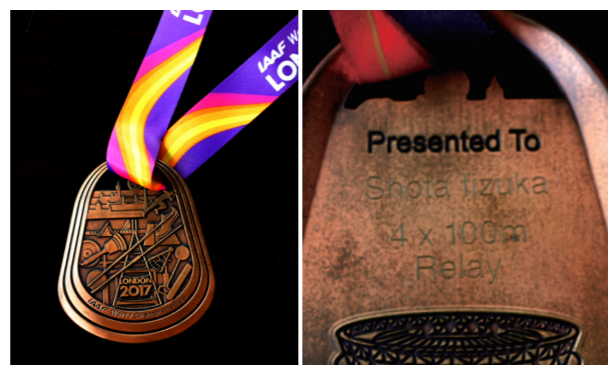
ますます活躍していく飯塚選手の走りは中央大学の誇り。これからも目が離せません。



左から酒井正三郎総長・学長、飯塚翔太選手、大村雅彦理事長



銅メダルを手に語る飯塚翔太選手



持参いただいた銅メダル。縁取りがトラックになっていて、なかには器材があらわれている。予選走者にもメダルは授与され、今回の日本チームは4×100mリレーで5つの銅メダルを獲得した。

夢のアーチで感動を。 2000 安打達成！ 阿部慎之助氏（読売巨人軍）

2000年秋、ドラフトで読売巨人軍を逆指名して1位指名で入団した阿部慎之助選手が、8月13日の広島東洋カープ戦（マツダスタジアム）で、プロ野球史上49人目の通算2000安打を達成されました。中央大学出身のプロ野球選手としては初の快挙となります。読売巨人軍の生え抜きでは長嶋茂雄さんや、王貞治さんらに次ぐ5人目の偉業達成とのことです。

阿部選手は、入団1年目から守備の要である捕手として、そして現在は一塁手としてチームを支え続けるとともに、着実に安打を重ねてきました。阿部選手の活躍は、硬式野球部の現役選手やOBのみならず、在学生にとっても大きな励みとなることでしょう。

東都大学野球秋季リーグ戦では、先輩の活躍に応えるべく、神宮球場での躍進を期待したいところです。



写真提供：読売巨人軍

矢後太規氏（尾車部屋）初土俵から2場所で関取の座を獲得 —本学より化粧まわしを贈呈—

幕下格付け出で五月場所より大相撲にデビューを果たした矢後太規さん（2017年法学部卒・尾車部屋）が、今年7月に行われた名古屋場所において全勝優勝し、初土俵から2場所で十両昇進という快挙を果たしました。

9月1日、中央大学駿河台記念館において、大相撲新十両矢後関激励会が行われるにあたり、十両昇進のお祝いとして、本学より①化粧まわし（校章と中央大学名入り）②締込（校色の紺地）③明荷の3点を用意。出席された約150名の前で披露された後、酒井正三郎総長・学長より矢後関へ贈呈しました。

